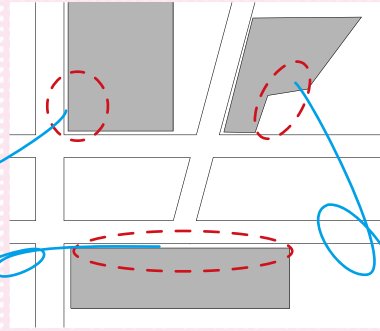


### ③敷地の形状

敷地の形は大・小、長・短、整形・不整形など様々です。その形をいかした建物配置や、緑化スペースにいかすなどの工夫をしましょう。



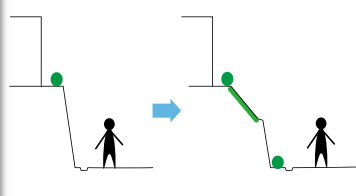
コーナー部分を緑化スペースにしています。

細長い敷地でも、敷地に緑化をすればうるおい豊かに。

建物が建てにくいところは緑化スペースに。

### ④ヒューマンスケール

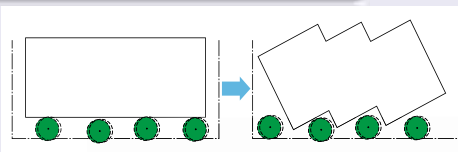
規模の大きい建物や高さのある擁壁などは、適度に壁面のデザインを分割したり、植栽を使うなどして、ヒューマンスケールに近づけるように工夫しましょう。



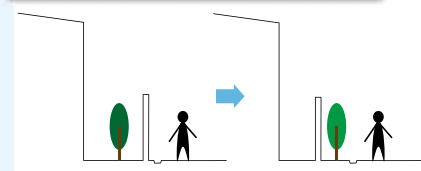
擁壁を低くし、緑を植えて見た目を穏やかに。



壁面を分割したデザインで、単調さをなくしています。



植栽を塀より前に出し、歩行者にやさらぎを与えています。



A-1 景観まちづくりへのプロローグ  
で地形などについて詳しく記載！

# 場所ごとの配慮ポイント

## 4 場所の特性を知り、配慮しましょう

### まちかど

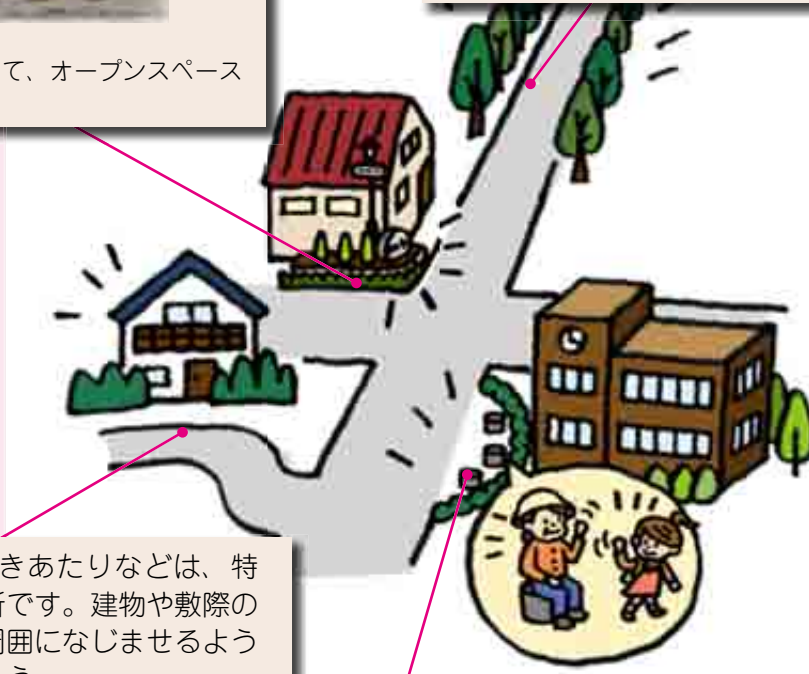
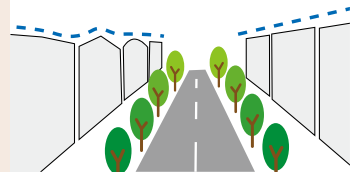
まちかどは、歩行者や車からよく目立つ場所です。見通しのよいシンプルで開放的な空間となるよう心がけましょう。



建物を後退させて、オープンスペースにしています。

### 見通し

見通しのよい川沿いや道路沿いの建物などは、多くの人々が眺めます。高さや壁面位置、街路樹などを整え、連続性を保つよう心がけましょう。



### アイストップ

カーブやつきあたりなどは、特に目立つ場所です。建物や敷地のデザインを周囲になじませるよう心がけましょう。

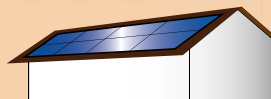


### 憩いのスペース

坂道では、敷地にオープンスペースを設け、歩行者などが一息つける場所を確保するよう心がけましょう。



さりげなく  
植栽帯に設置



太陽光発電設備を設置するときは、場所の形状や周辺の景観に合わせましょう。パネルの反射にも配慮しましょう。

# まちなみにまとまりをもたせる

## 5 まちなみに連続感・一体感をもたせましょう



建物や敷地のデザイン、スカイラインを揃えましょう。連続感や一体感のあるまちなみになります。



建物デザインにルールを取り入れたまちなみ。



スカイラインを整えています。



敷地のデザインや材料などを工夫して歴史の風情を伝えています。

スカイラインや敷地デザインを整えることは、まとまりのあるまちなみづくりへの近道です。

A-1 景観まちづくりへのプロローグ  
やB-1、B-2 建築物も参考に！



適度な変化を取り入れたデザインの工夫により、まちなみにリズム感が生まれます。



## 6 ゆとりや安らぎをもたせましょう

ゆとりや安らぎの感じられる心地よいまちにするために、配置を工夫するなどして開放感やゆとりの空間を確保しましょう。



開放的な敷地で、小道が設けられています。



壁面位置を後退させて、ゆとりの空間をつくっています。



広い歩道や植栽、ベンチでお店の活気と憩いの空間を工夫しています。

みどり豊かなまちは“ほっ”とするものです。風土の特性や季節感のある樹木等を取り入れましょう。



吹田の木「くすのき」。



吹田の特徴ともいえる竹林。



敷際に花の咲く木を植えると季節感を演出できます。

必要な機能はそれぞれ満たしながら、すっきりとシンプルにデザインすることで、豊かな空間が  
つくれます。

昼



どど  
土留めを工夫してベンチに。  
憩いのスペースになりました。

夜



ベンチの下に街路灯を取り入れて、  
歩道がすっきり。

だから街路灯  
がないんだ！



伝統的なデザインやさりげない工夫を取り入れると、地域や施設の「らしさ」を表現できます。



店構えでお店の内容がわかります。

地域のランド  
マーク「メロード吹田」  
と同じ形だよ。



昼間も楽しめる街路灯のデザイン。



## 7 夜間景観に配慮しましょう

昼間に見えているものだけが景観ではありません。夜間景観にも十分配慮しましょう。



照明を日よけテントに当てて、ほどよい明るさをつくりだしています。



敷際を適度に照らして、あたたかい雰囲気をつくっています。



敷際のほどよい明かりがうるおいをつくりだしています。



しゃれたデザインの街路灯。

次はどれを読む？



さらにテーマを絞ったマニュアルを用意しています。

敷際は  
**A-4 今すぐできる敷際デザイン**を

色の選び方は  
**A-5 景観まちづくりと色**を

どっちも気になる！

